



# Bーぐる沿線協議会ニュース

第15号

平成 28 年 3 月 発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係（コミュニティ担当） 03-5803-1387

平成 28 年 3 月 14 日に沿線協議会が開催され、Bーぐる停留所のデザイン案とバス停名の英語表記について、具体的な検討が行われました。

## 原寸大の模型を使って、停留所のデザインを具体的に検討

沿線協議会では、Bーぐるに関する多言語化対応にあわせて、停留所の新しいデザイン案について提言を行っています。今回は、前回各委員から出た意見をもとに作成した原寸大の模型を見ながら、より具体的な意見が出されました。

委員の皆さんはたいへん興味深く停留所の模型を眺めながら、路線図や時刻表、運賃や IC カードの案内等を見やすさや内容の観点から丹念にチェックしていました。

冒頭、元田会長から「路線図はいつも使っている人はほとんど見ないだろうから、普段使わない人や外国人が乗るときに便利できるようにしておく必要がある。その点、地図の情報と一緒に案内しないと、自分が今どこにいて、行きたい場所との関係がわからなくなる」と、路線図に工夫を求める意見が出されました。

また、板面に記載する情報に関しては、「情報の詰め込みすぎで、文字が小さい」、「禁煙のお知らせ等、ピクトグラムと文字で情報が重複」といった指摘がありました。さらに、初めて乗る人に対しては「運賃 100 円・前乗り前払い・IC カードが使えます、この 3 点が情報提供でき



### 各委員の意見

#### [記載する情報に関して]

- 情報の詰め込みすぎで、文字が小さい
- 禁煙のお知らせ等、ピクトグラムと文字・文章で情報が重複している箇所がある
- 外国人に対しても、停留所の番号は有効
- 絵やピクトグラムを積極的に取り入れて板面を有効活用
- 自分の現在地と目的地を地理的に把握する上でも、路線図は地図の情報と一緒に案内
- 板面の裏側も有効に活用してほしい

#### [色使い・デザインに関して]

- オレンジ色の背景に白文字の組合せは読みとりにくい
- 運賃・時刻表・路線図の帯タイトル自体が不要なのでは
- 時刻表はユニバーサルデザインに則った白地に黒文字が見やすい
- BUS STOP の文字がどこにもないが、外国人が見てもバスの停留所と認識できるように

ればよい)、さらに「絵やピクトグラムを積極的に取り入れて板面を有効活用」、「外国人に対しても、停留所の番号は有効。わからなくなったら最後は停留所番号と地図をつけ合わせるのぞ」といった具体的な提案もありました。

色使いやレイアウトに関しても、「Bーぐるのテーマカラーであるオレンジ色でデザインしたことはわ

かるが、オレンジ色の帯に白文字の組合せは読みとりにくい」、「そもそも運賃・時刻表・路線図のタイトル自体が不要なのでは」といった意見や「時刻表はユニバーサルデザインに則った白地に黒文字が見やすい」といった意見が出されました。

## 停留所名のローマ字・英訳併記案に、参加委員の意見も分かれる

続いて、今回の改訂の主目的でもあった停留所掲載内容の英語表記に関して、事務局からこれまでの経緯が説明されました。

その中でも、停留所名の英語表記については、「事業者間の統一的な取扱いのため、バス協会の指針に沿って、表音をローマ字で表記し、必要の応じその後括弧書きで英訳を併記して作成」されたもので、英訳に関しては、「平成27年2月に東京都により改訂された『国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針及び同対訳表』をベースに、文京区広報課が作成した区内施設等についての対訳表などに照らして作成した」と説明がありました。

元田会長から「バス協会はローマ字表記を推奨しているが、道路標識（交差点表示）ではローマ字表記を英語表現に改めている経緯がある。外国人にはローマ字は発音できても意味はわからない」、「意味がわかるようにしておくこと（＝英訳）が大事」との意見がありました。

このローマ字と英訳の二通りで表記する案に関しては、参加委員の間でも意見が分かれたところぞ。「無駄なような気もする」、「長くなるし、見づらい」といった英訳のみでよしとする意見に対して、「当面は併記がよい。外国人もどちらかに引っかければ正解にたどり着ける」、「バスの車内アナウンスは日本語のみ。英語はないのだから、音での整合性が必要」といったローマ字・英訳併記を支持する意見も出されました。

個別の停留所名の英語表記では、固有名詞の扱いが論点になりました。文京シビックセンターについては、「ジャパニーズイングリッシュで意味が通じない。英語ではCity Hallになる」、アカデミー音羽については、「固有名詞だから仕方ないが、外国人にはアカデミックなものと思われる」といったことから、英訳の必要性が指摘される一方で、英訳だけで一本化してしまうと逆に日本人がわからなくなる懸念があるといった意見も出されました。

また、地下鉄に乗り換えできる停留所には、乗換案内を英語で表記した方が親切という提案もありました。

区では今日の意見をもとに、停留所のデザインと英語表記について、最終的なとりまとめ作業に入る予定です。



### 編集後記

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、文京区を訪れる外国人旅行者も増えることぞしょう。外国人旅行者がBーぐるに乗って区内を観光している姿を想像するだけで、今からワクワクしてきます。多言語対応の準備を進めていくことはもちろん大切ですが、最後に物を言うのは区民一人ひとりのコミュニケーション意識だと思ひます。(N)